

おおおしまだより

2014年7月号

「おおしまだより」は、1、4、7、10月に定期発行いたします
バックナンバーは会計窓口にお問い合わせください

社会医療法人社団 順江会 江東病院 医療連携室発行
〒136-0072 東京都江東区大島6丁目8番5号
電話/FAX：03-3685-2766
<http://www.koto-hospital.or.jp>
E-mail：renkei@koto-hospital.or.jp

三井記念病院 / がん研有明病院との連携を強化！

病院はさまざまな役割をになっています。当院は江東/城東地区の地域中核病院としての役割をになっていますが、そのすべてを当院だけでまかなうことはできません。がん研有明病院（江東区有明）は日本を代表するがん専門病院ですが、一つの病院だけではすべてのニーズにこたえることは困難です。また、三井記念病院（千代田区神田）は日本有数の総合病院として有名ですが、やはり患者さんのすべてのニーズをみとすることは困難となってきています。



がん研有明病院



三井記念病院

そこで、当院はこの日本を代表する二つの病院と密接な連携をはかり、それぞれの病院の良い所を最大限に活かした形の医療を患者さんに提供する努力をしていくことといたしました。

皆さんは必要に応じて両病院で最先端の治療や検査を受けていただくことができます。その後、病状が安定した際には当院で経過観察や治療の継続を行い、場合によっては緊急処置/入院などの加療をうけていただくことができるようになります。

お互いの病院では研修会や医師の交流会を開催し、双方の病院の医療・技術を共有します。また、医師のみでなく、技師や事務職員なども交流を深め、知識、技術の向上をめざしていきます。こうした交流によって皆さんがそれぞれの病院を受診される際の手続が今まで以上にスムーズにすすんでいくことになります。当院の開発した新医療情報連携システム（PasCal）を利用することで病院間の情報伝達もシームレスにできることになります。

当院で今まで十分に対応する事が困難であった疾患の患者さんに対して、新しい治療へのハイウエイを構築していけるものと考えています。

診察呼びだしポケベルをお使い下さい

当院では皆さんに診察待ち時間を有効に活用していただく目的で、ポケベルのご利用をおすすめしています。ポケベルは受付カウンター②番でお借りいただけます。

このポケベルは診察案内盤と連動し、診察3人前になると、メロディーと振動、赤ランプ点滅でお知らせし、「マモナクシンサツ」と表示されます。診察順番になると同様のお知らせのほか、「シンサツシツニオハイリクダサイ」と表示されます。ポケベル利用により、うっかり見落とし、席をはずして順番をとばされたなどを防ぐことができます。ぜひお気軽にご利用ください。使用後は受付②番までご返却下さい。（ただし、眼科、小児科や検査では使用出来ません。）



ヒポクラテスの木

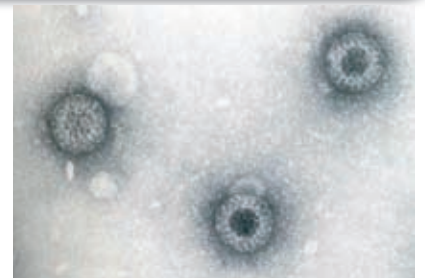


ヒポクラテスの木は、紀元前のギリシャの医聖、ヒポクラテスがこの木の原木の下で講義をした事に因んだものであり、世界中の病院に分木されています。手のひらより大きな葉っぱがたくさん生え、暑い日には木陰が出来、一休みすることもできます。

感染症と感染制御室の役割

今年四月より感染制御室長に新任致しました工藤宏一郎と申します。現在まで、長年にわたり国際的感染症を含む感染対策にかかわってきました。今後、当院でその経験を活かしていくことになりました。

あまりなじみのない当部門ですが、大切な役割を果たしていますので、その役割を皆様にご紹介し、ご理解をいただきたいと思ひます。



ロタウイルス粒子の電子顕微鏡写真（人獣共通感染症、医薬ジャーナル社より）

感染症について

ひとくちに感染症といっても色々な種類があり簡単ではありません。それは多くの要因が複雑にからみあっているからです。原因となる病原微生物にはウイルス、細菌、カビ（真菌）、原虫、寄生虫など多種類があります。それぞれの微生物によってたくさんの疾病がひきおこされます。



複数病院合同の感染制御カンファレンス

同じ病原微生物でも、宿主（感染者）の抵抗力、年齢、他の疾患の有無などによって、感染するかもしれないかや、重症度も異なってきます。また、治療法のないものもあり、疾病の重症度や管理方法も大きく異なります。

感染経路は微生物の種類によって異なり、原因微生物をつきとめて、感染経路を有効に遮断することは、予防や感染拡大防止、ひいては感染症の根絶にもつながります。例えばよく聞くノロウイルスやO-157などの食中毒の原因となるウイルス・細菌感染、インフルエンザウイルス感染などに対して、手洗いやマスク、咳エチケットなどの重要性が言われているのも、この例です。原因微生物をつきとめることは、適切な治療に直結します。

感染制御室について

感染症予防の対策は、当院においてもきわめて重要です。外来／入院患者さんは、感染症や既に他の疾患をもっておられる訳ですから、健康な一般の方よりも感染症に対するリスクが高くなっています。また、感染症患者さんから他の患者さん、あるいは病院職員へと感染が拡大するのを防御する措置を迅速にとる必要もあります。

感染症の発生や頻度は病原体の特性によるため地域や環境、季節、などによって変動します（インフルエンザは冬に多い、結核はいつも発生するなど）。感染症は個々の患者さんに対して適切な治療を行うだけでなく、その疾患や拡大規模によって複数の医療機関、研究所、保健所や自治体などの行政機関、検疫所などとの協力体制が必要となる場合が多くあります。

感染制御室は院内の環境衛生の整備、感染症治療の相談・助言、病院職員（医師・看護師等）への感染防止対策や教育などの活動を常時行って、患者さんの安全や健康を守る活動を行っております。そして、ひとたびリスクの高い感染症が発生した場合にはいち早く情報を収集し、皆さんや職員に情報を提供するとともに感染症の拡大を制御するための最大限の活動を行っています。

これらの活動は広範囲になりますので、医師、看護師、薬剤師、検査技師、事務など多職種の専門家のチームで展開しております（ICT：感染コントロールチーム）。

感染症に対して、疑問、相談等が有りましたら、何でもお気軽にご相談下さい。

感染制御室長（呼吸器内科） 工藤宏一郎

感染制御のラウンド



感染性医療廃棄物を監視しています。

イラスト病院紹介



採血・採尿受付機（右の装置）中央検査室前にあります。採血管準備機や外来案内板と連動していて、皆さんが診療券を入れるとラベルが貼られた採血管や採尿カップが自動で準備されます。順番になると案内板に番号が表示されます。

臨床検査科のご紹介

臨床検査科は、患者さんから採取された血液や尿を分析したり、心電図や呼吸機能、脳波、聴力検査などを行うことで患者さんの身体機能を検査する科です。そうしてえられたデータは、担当医師に逐一報告され、医師が患者さんの病態を把握し、診断や治療方針を決定するうえできわめて重要な役割をはたしています。

採血が好きだと言う方はあまりいないと思いますが、採血検査によってじつに様々な項目が検査できます。

心臓、肺、肝臓、腎臓などの臓器の状態、感染症や生活習慣病など基本項目は70種類、更に研究所レベルの特殊検査1000種類も時間はかかりますが検査することができます。

当院の採血室は、ロビーのシースルーエレベーターの後ろにある採血や採尿を行う中央検査室内に有ります。そこでは、臨床検査技師6名、事務員1名で、毎日おおよそ200名の患者さんの採血を行っています。今までは、採血管に採血のラベルを手作業で貼っておりましたが、昨年秋より取り違えなどのないスムーズな検査を行うために、患者さんが診察券を採血・採尿受付機に挿入すると自動的にラベルがはられた採血管や採尿カップがでてくるような採血管準備装置・患者認証システムを導入しました。

採血した検体は、専用のエレベーターで直接地下の臨床検査室にはこぼれ、すぐに様々な分析が行われます。臨床検査室は8名の技師がおり、検査は肝機能酵素やコレステロール、尿酸、血糖などの生化学的検査、白血球数やヘモグロビンなどの血液学的検査、肝炎ウイルス、前立腺特異抗原（PSA）などの免疫学的検査、尿沈渣など顕微鏡を用いて技師の目で最終的な確認が必要な測定項目もあります。当科では、緊急検査項目に関しては、正確なデータが1～2時間以内に担当医師へ報告出来るように心がけています。診療時間外も常駐しており、夜間救急の患者さんの採血検査や心電図など24時間休むことなく行っています。

検査のことでお気づきのことがございましたら、いつでも臨床検査技師にお声をかけて下さい。



新設の採血・採尿受付機（左）と採血ブース。後ろにある機械は採血管準備装置（右）。



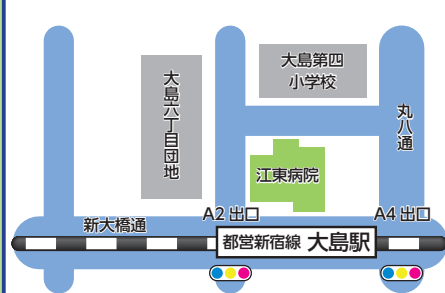
臨床検査室・生化学分析器

診療科目 内科 循環器内科 消化器内科 呼吸器内科 腎・高血圧内科
 糖尿病内科 膠原病・リウマチ内科 脳神経内科 小児科
 外科 整形外科 脳神経外科 麻酔科 泌尿器科 眼科
 耳鼻咽喉科 婦人科 皮膚科 美容皮膚科 メンタルクリニック
 放射線科 血液浄化センター 外来化学療法室
 リハビリテーション科 健診センター 睡眠時無呼吸(SAS)センター

職員数 常勤医師:82名、薬剤師、技師:101名、看護師:285名、その他:165名

関連施設 東京綾瀬腎クリニック（電話：03-5680-6888）
 介護老人保健施設「かがやきライフ江東」（電話：03-3640-2111）
 認知症高齢者グループホーム「サンライズホーム」（電話：03-3640-2112）
 訪問看護ステーション「たんぱぽ」（電話：03-5627-5820）

厚生施設 看護師寮
 院内保育所「すくすくナーサリー」（平成26年7月）



- 都営新宿線大島下車（出口A2）1分
- 総武線亀戸駅より葛西橋行、東大島行、東陽町行バスで大島駅江東病院前下車
- 駐車場（患者さん料金）：4時間まで300円以降20分毎100円（透析患者さんは6時間まで300円以降20分毎に100円）

トピックス ア・ラ・カルト

江東健康フォーラム開催案内



日程	時間	セミナー名	講師
8月23日(土)	13時30分	食物繊維について	荻原管理栄養士(栄養科)
9月27日(土)	13時30分	肩とリハビリテーション	時津理学療法士(リハビリテーション科)
10月18日(土)	13時30分	“B型肝炎・C型肝炎 -治療・助成・最近の状況-”	黒田名誉院長
11月22日(土)	13時30分	インフルエンザとその対策	工藤医師(感染制御室長)

当院では、医師や医療スタッフを講師とした無料セミナーを毎月第三或いは第四土曜に行っています。ぜひ参加ください。

場 所：本館 2 階北側待合室 会場の入場は 30 分前よりです。
定 員：50 名、直接会場にお越しください。
問合せ：医療連携室 電話：03-3685-2766 (直通・FAX)
03-3685-2166 (代表)

区健康診査・検診が始まりました

6月21日より区の健診が始まりました。受診希望の方は健診センター(03-3685-2238)までお申し込み下さい。受診対象者には受診案内が通知されていますので、受診の際には区から送付された「受診券」をお持ちのうえお越しください。なお、当院では下記の項目の検査を実施しています。

詳細は江東区保健所、健康推進課、健康づくり係(03-3647-9487)におたずねください。

種類	費用	項目・検査方法	年齢などの条件(平成27年3月31日現在)
健康診査	無料	問診、血圧、胸部X線、血液検査、尿検査、心電図他	40歳以上で、江東区国民健康保険または後期高齢者医療制度に加入している、もしくは生活保護を受給している方
眼科検診	500	視力、眼圧、眼底検査他	50, 55, 60歳の方
大腸がん	500	便潜血検査	40歳以上の方(41, 46, 51, 56, 61歳*)
子宮頸がん	600	頸部細胞診、内診	20歳以上で偶数年齢の女性、(21歳*)
乳がん	1000	視触診・マンモグラフィー	40歳以上で偶数年齢の女性、(41歳*)
前立腺がん	500	PSA検査	55, 60, 65歳の男性

*大腸がん:41歳、46歳、51歳、56歳、61歳、子宮頸がん:21歳、乳がん:41歳の方は国の「がん検診推進事業」の対象となります。クーポン券が送付され、無料で受診できます。また、子宮頸がん・乳がん検診は21歳、41歳以外の方でも過去にクーポン券を送られた方で平成24年度まで未受診の方に対しては再度クーポン券が送付されます。

新任医師紹介(4月～6月) 《診療科、氏名、抱負、趣味など》



くどう こういちろう
工藤 宏一郎 感染制御室長 呼吸器内科
皆様にお役に立てるよう心がけた診療をしたいと思えます。趣味：音楽、水泳、読書



さめじま れいこ
鮫島 麗子 医師 小児科
お子様の病気や育児について等、お気軽に御相談下さい。趣味：ヨガ、温泉めぐり



すずき まいこ
鈴木 麻衣子 医師 消化器内科
親切・丁寧をモットーに診療に取り組めます。趣味：写真、音楽・観劇鑑賞



なかむら まさひろ
中村 真浩 医師 耳鼻咽喉科
皆さまの健康と明るい生活のために尽力していきたいと思えます。



もてぎ けんたろう
茂木 健太郎 医師 外科
新任で参りました。気軽にご相談ください。



ふくだ かずひろ
福田 和泰 医師 泌尿器科
一生懸命頑張ります。宜しくお願ひします。趣味：卓球、サッカーなど

退職医師

長濱久美 / 呼吸器内科
根岸義文 / 整形外科



医療機関の連携

患者さんのご紹介、検査予約
(MRI, CT, X線、超音波)

江東病院 医療連携室

電話：03-3685-2766(直通・FAX)

03-3685-2166(代表)

E-mail: renkei@koto-hospital.or.jp

診療受付時間

		午前	午後
初診受付	平日	8:00～11:00	11:35～15:00
	土曜日	8:00～11:00	休診
再来受付	平日	8:00～11:30	11:35～15:30
	土曜日	8:00～11:00	休診

休診日

日曜日・祝日・第2土曜日(ただし、9月/10月は診療いたします)
年末年始、創立記念日

休日、時間外の救急は来院前にお電話ください

電話：03-3685-2166(代表)

健診、人間ドック、その他オプション検査の予約

直通電話 一般健診 03-3685-2281 江東区健診 03-3685-2238

平日・土曜/午前 8:30～12:00 平日/午後 12:00～16:00